



写真1 正門石橋と正門鉄橋

近隣散策

二重橋

国内外多くの観光者が訪れる皇居。中でも、有名なスポットとして挙げられるのが、二重橋です。

二重橋と聞いて、写真1手前の二連アーチ構造の「正門石橋」、俗称、“めがね橋”や、写真1中央左奥の「正門鉄橋」(写真2)の二つの橋を思い浮かべた人も多いのではないのでしょうか。今では二つの橋を総称して二重橋と言われていますが、厳密には違うようです。

1614年(慶長19年)に架けられた江戸城の西丸下乗橋(=正門鉄橋)が、濠が深いため、まずは橋桁を渡しその上に橋を架ける“二重構造”の様[※]から付いた通称が二重橋。つまり、本来の二重橋は、「正門鉄橋」(写真2)のみを指すのだそうです。

しかしながら、1888年(明治21年)に鉄橋に架け替えられた際、橋桁は二重構造ではない現在の姿になり、また、皇居前広場から撮影しやすい「正門石橋」をメディアでよく目にするなどにより、本来の由来が薄れたのではと推測します。

一方の「正門石橋」は、1624年(寛永元年)に架けられた西丸大手橋が、1887年(明治20年)に石造りアーチ橋に架け替えられたもので、花崗岩が使用され、照明灯や高欄を含め、西洋建築の意匠が採用されています。(皇居外苑苑内各所に配置されている石のベンチは、平成に改修した正門石橋前高欄の台座石を再利用したものです。)

両橋は、1964年(昭和39年)に明治時のデザインを踏襲し再び架け替えられ、現在に至っています。通常は使用されず、新年の一般参賀や外国賓客の皇居訪問等宮中の公式行事の際に利用されます。

参考文献

一般財団法人国民公園協会 皇居外苑 ●URL <http://fng.or.jp/koukyo/>

環境省 ●URL http://www.env.go.jp/garden/kokyogaien/1_intro/his_04.html

※東京都立図書館「江戸城写真集」二重構造時の写真

●URL <http://archive.library.metro.tokyo.jp/da/detail?tilcod=0000000002-00080548>



写真2 正門鉄橋

